



廣部 真造 議員

5年後 10年後の
地域医療体制について

地域包括ケアシステムにおける、
5年後10年後の地域医療体制は？

答

市民が安心して暮らせる医療体制の構築に努めてまいります。

問 近い将来の地域医療体制についてどう考えているか。また、どのような取り組みをしているのか。

在宅医療支援診療所や開業医の負担軽減に努めてまいります。

答 健康福祉部長

地域医療の第1線として開業医の皆さまの活躍が期待されており、今後とも長く、地域医療をお支え

地域の中核病院である高島市民病院と、市内開業医との連携は地域医療体制を構築する上で大変重要であり、当院と各開業医の双方の適切な役割分担、連携を通じて切れ目のない地域医療の充実を図って行かなければならないと考えております。今後増加が見込まれる在宅医療については、4月から総合診療科を設置し

が期待されており、今後とも長く、地域医療をお支えいただきたいと願っているところでございます。市民の健康を守り、福祉の向上に努める上で医療体制の充実には不可欠な課題であります。市内の医療体制の確保が、市民の安心につながりますよう、市内3病院と開業医の皆さんと力を合わせ、国・県の関係機関と連



高島市民病院

問 滋賀県の第7次保健医療計画において、高島市の独自課題を踏まえ地域にあった医療体制を構築するために、

能動的なスタンスで向き合う必要があると考えるが、見解は。

答 健康福祉部長

高島市独自の高齢化の進行問題を含めました現状とニーズ把握を踏まえまして、市内医療関係機関をはじめとして、行政または保険者や被保険者の代表の方で構成されます調整会議において、県全体の計画の中に、高島地域の実情をしっ

かりと踏まえた計画となるよう働きかけ、今後とも、市民が安心して暮らせる医療体制の構築に努めてまいります。

その他の質問

●高島市民病院の医療サービスの更なる充実について

●人材育成と労働時間の適正化への取り組みについて